

《令和7年度 城陽市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録（要旨）》

●日時：令和7年8月29日（金）午前10時～午前12時
●場所：城陽市役所西庁舎 4階 403会議室

1. 開会

2. 市長より任命書交付

3. 市長挨拶

4. 議事

第2次「山背五里五里のまち 創生総合戦略」の取組について説明

（主な質疑・意見等（要旨））

○基本目標1（健康と医療福祉のまち）関係

- ・ 特定健診受診率が下がっているが、「人間ドック」は含まれているのか。市から「近所の医院で受診を」と案内があるが、人間ドックとは別物か。
→特定健診はメタボ健診（40～74歳対象）であり、人間ドックとは別である。
- ・ 人間ドックは近隣市では毎年助成があるが、城陽市だけ隔年助成。財政的な理由は理解するが、「1年目は不可」というのは印象が悪い。1年目も翌年に後付け支援するなどの工夫もできるのでは。「健康・医療のまち」を掲げるなら柔軟な支援制度に改善すべき。
→以前は毎年助成していたが、受診希望が多く抽選で落選者が多かった。現在は隔年方式に変更し、希望者全員が2年に1度必ず受診できる体制である。改善点は今後検討する。
- ・ 情報発信はプッシュ型（SNS・LINEなど）でタイムリーに周知を。
→SNS・LINEなどのプッシュ通知型情報発信を強化予定。令和7年度中にジャンル選択等のLINEリニューアルを実施し、使い勝手の向上を図る予定。
- ・ 「減塩」施策の表現は慎重にすべきではないか（適塩や栄養面の配慮）
→意見を踏まえ、適切な情報発信（適塩）を検討する。

○基本目標2（魅力ある職に出会うまち）関係

- ・ 女性の就労支援と働く場の確保はどうなっているか。
→働く女性の家やばれっとJOY-Oではスキルアップ講座・再就職支援等を行っている。働く場（企業誘致やマッチング強化）に注力し、若年層の定着を図る。
- ・ 市内企業の従業者数の目標（第2次：24,700人、第3次：25,000人）はアウトレット等の想定を含むのか。
→第2次創生総合戦略よりアウトレット等、新名神高速道路の開通による増加は一定見込んで目標に含めている。令和6年度実績はアウトレットなしでも目標に近かったが、新名神高速道路の開通遅延もある中で、アウトレット等がなくとも数値の増加を図れるよう、求職者

とのマッチング事業等を強化している。空き家の流通促進も併せて定住促進につなげたい。

○基本目標3（ゆったり住めるまち）関係

- ・ 空き家バンクの登録件数はわかるが、市内の空き家総数はわかるか。空き家バンク登録物件の安全性チェックは。

→令和5年度末時点で、空き家バンクの利用実績は124件（購入53件、賃貸71件）。市内の空き家は、老朽化したものより良好な住宅が多い。令和7年度からは所有者側への補助制度を新設（上限10万円）し、家財処分・清掃費等に活用可能。

- ・ 空き家所有者・利用者に向けた情報発信（HP・SNS等）を充実すべき。
- ・ 利用者の属性（年齢層・通勤先・家族構成など）を分析すれば、今後の福祉や定住促進施策に役立つのではないか。

→現時点では詳細な利用者属性分析は十分にできておらず、登録数増→分析→子育て世帯等へターゲットを絞った施策反映を進めたい。

- ・ 基本目標3「住み続けたいまち」の目標指標である“定住意向”は、誰の意向（年代別）かによって施策が大きく変わる。次回以降は、年代別の定住意向を示してほしい。また、回答者の年代構成が市の人口構成と乖離していないか（若年層が少なく高齢層が多くなる偏りなど）も確認すべきであり、不足する年代層は他の調査（小中高生、20代）で補完し、市民全体の実態を反映した分析が必要ではないか。

→市のアンケートは回答層に偏り（バイアス）が生じやすく、高齢層の比率が高くなりがちである。第3次計画作成時は若年層への特別なアプローチは行っていなかったが、現在策定中の次期総合計画では、中学生アンケートや若者向けワークショップなどを通じ、多様な年代の意見を収集し、偏りの少ないデータ取得に努めている。次回は、年代別のデータも提示できるよう準備する。なお今回の“定住意向”指標は18歳以上のアンケート結果を用いている。

○基本目標4（とことん遊べるまち）関係

- ・ ホームページやSNSのアクセス数を指標にしているが、単に件数だけで達成とするのは適切ではないのではないか。どの分野にアクセスが多いのか、苦情的なアクセスではないかなど、内容を分析しながら活用すべきではないか。

→ご指摘のとおり、アクセス分析を行うことが重要と考えている。SNSは分析しやすいため、専門家の助言を得ながら、どの発信が反応を得やすいか、時間帯・文面・写真等の工夫を分析し、効果的な発信に向けてトライアンドエラーを継続している。